

福島県外来医療計画(素案)に対する意見と対応(案)【各種協議会委員、関係団体及び市町村等】

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
1	5	1	「第3節 外来医療の現状」	福島県において、診療所における診療科の専門分化は課題とならないのか。	かかりつけ医及び診療所医師の専門分化について、現状把握に努めてまいります。 また、福島県医師確保計画において、総合診療医の育成に取り組むこととしております。
2			「感染管理に係る取り組み、連携について」項目を新たに付けること	感染管理対策に取り組む病院、診療所の連携取組(の進展)について記載してはどうか。	第8次福島県医療計画の第8章第8節「新興感染症発生・まん延時における医療」及び第11章第1節「医療安全対策」において記載しております。
3	1		「3 計画期間」	令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3か年とし、令和6年度以降、3年ごとに見直しを行う。	御意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間とします。」
4	14	3	6地域で不足する外来医療機能の検討(公衆衛生に係る医療の提供体制) 本県の学校医数は高等学校は全国平均を半数程度下回っている	高等学校は、学校医の設置は義務なのか?(掲載しなくてもよいのでは?)	外来医療に係る地域の協議の場において、地域で不足する外来医療機能(初期救急、在宅医療、公衆衛生)について充実を図っていくこととしており、検討の材料として現状(学校医については、小中学校・高等学校の学校医数)を記載しております。よって、原案のとおりとします。

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
5	14～15	14頁 1～3 行	第2章 外来医療提供体制の現状 第3節 外来医療の現状 6 地域で不足する外来医療機能の検討 (3) 公衆衛生に係る医療に提供体制 イ 学校医について	図表2-3-19、図表2-3-20及び図表2-3-21について、「本県の学校医数は、小中学校においては全国平均と比較して同程度で推移していますが、高等学校においては全国平均を半数程度下回っています。」とあるが、学校医の比較は児童・生徒100人又は1,000人当たりの人数とすべきではないか。	不足する外来医療機能の検討にあたり、参考となる現状値として、人数を記載しておりますので、原案のとおりとします。
6	目次		「第2章 外来医療体制等の現状」について	「第2章 外来医療体制の現状」の誤りではないか。	御意見のとおり修正します。
7	2		「図表2-1-1 外来医師偏在指標の算定式」について	外来医師偏在指標の算定式における分母の計算に用いられている「地域の標準外来化受療率比」について、正しくは「地域の標準化外来受療率比」ではないか。	御意見のとおり修正します。
8	10	8	「人口10万人あたりの時間外等外来医療施設数」について	全国平均を下回っているのは県中、会津・南会津医療圏も挙げられるのではないか。	御意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「人口10万人あたりの時間外等外来医療施設(病院・診療所)数は、県南、会津・南会津、相双医療圏で全国平均を下回っています。」
9	16		「図表3-2-1 医療機器の配置状況に関する指標の算定式」について	「(※2)地域の人口あたり期待検査数」について、「(※2)地域の性年齢調整人口あたり期待検査数」とすべきではないか。	国のガイドラインに則して記載しているため、原案のとおりとします。
10	23		「図表3-3-5 福島県内の医療機器(放射線治療機器)所在地」について	「図表3-3-5 福島県内の医療機器(放射線治療)所在地」とすべきではないか。	御意見のとおり修正します。
11	20～25	図表	図表3-3-2 図表3-3-3 図表3-3-4 図表3-3-5 図表3-3-6 図表3-3-7	図表示が見ずらいため、機器等の下段に市町村等又は医療機関名を表示してはどうでしょうか。 そのうえで、第5章の資料編に記載してはどうでしょうか。	第3章「医療機器の効率的な活用」には県全体の医療機器の所在地を図表として掲載し、別途資料編として二次医療圏ごとの医療機器の所在地を掲載いたします。

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
12	3	21 ～ 24	「第2節 外来機能報告と紹介重点医療機関」について	紹介受診重点医療機関は意向を有する病院とあるが、100床以上は意向に関係なく指定するべき。	御参考とさせていただきます。 なお、第8次福島県医療計画9ページ(1)-ウに県民の役割として、「限られた医療資源を有効に活用するため、地域の医療状況に関心を持ち、医療機関の適正な受診に努めるなど、医療サービスに対して主体的に関わること」と記載しております。
13	24,25		図表3-3-6福島県内の医療機器(血管連続撮影装置)所在地について	医療機器のマップでは、24ページ血管連続撮影装置と25ページ内視鏡手術用支援機器(ダヴィンチ)の所在地について示されているが、16ページでは、対象とする医療機器をCT、MRI、PET、マンモグラフィ、放射線治療(リニアック、ガンマナイフ)としているので、当該マップについては、参考として扱ってはどうか。	医療機器の共同利用による効率的な活用を推進するため、医療機器の購入を検討している医療機関が近隣の医療機関で保有している医療機器の配置状況等を把握する際の参考となるよう幅広に掲載しております。よって、原案のとおりとします。
14			「外来医師偏在指標」について(全文読めていないので、この部分と指摘できず申し訳ありません)	「診療所医師数」を指標としていますが、少なくとも保健所単位では65歳未満の医師数等出せると思いますので、今後の医療計画を考えるのであれば、この数字も参考地として付記して頂きたいです。	計画素案7ページにおいて、年齢階級別診療所従事医師数を掲載しており、二次医療圏ごとの医師数を記載しております。
15	26	図 1～34	「共同利用計画確認までの流れ」	流れがわかるよう色と矢印・破線に意味をもたせて フローを作成してはどうか ・計画が確認されてから、購入することを示す ・矢印は何の流れが誤り ・県地域医療課は何をするのか示す	御意見を踏まえ、図表を修正します。
16	26	図	「共同利用計画確認までの流れ」	図表No.を示してはどうか	御意見のとおり修正します。